

1 リチウム蓄電池等の行政回収について（検討中）

（1）経過

- ・現在、本市の回収体制は、家電量販店（JBRC）か、対応可能な収集運搬許可業者での回収。
- ・令和7年4月15日環境省通知「市町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策について」発出。
「住民にとって利便性が高い分別収集と拠点回収を併用し、住民の利便性を更に高めること。」
- ・令和8年4月から行政回収を実施する方向で、国崎クリーンセンターと1市3町で定期的な調整を開催し、検討中。

（2）行政回収の検討状況

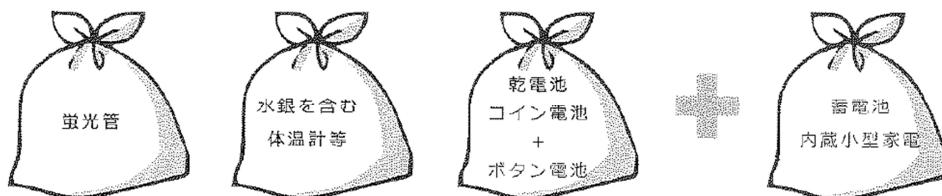
対象

- ・リチウムイオン蓄電池、ニッケル水素電池、ニカド電池の各単体
- ・上記を内蔵した小型家電製品
- ・ボタン電池（コイン型は現在も収集可）

具体的な排出方法

- ・令和8年4月から開始予定
- ・有害ごみの日に、バッテリー単体、内蔵品を同じ袋に入れ排出
破損・液漏れ・膨張している物などは、拠点回収

（排出イメージ）



2 廃食油リサイクルについて（検討中）

（1）検討内容

廃食油の収集拠点を設け、再生利用事業者が収集・処理する方向で検討

事業者により収集後のリサイクル方法は異なり、動物飼料・石けん・バイオディーゼル燃料・航空燃料などの製造原料になる。

3 ごみ減量チャレンジ・モニターについて

（1）ごみ減量チャレンジ・モニターとは

一般家庭から排出されるごみの減量化に向けた市民の実践的な取組を活用することで、ごみの減量化及びリサイクルを推進することを目的として活動する市民で、市から委嘱された人。

活動内容 1 「ごみ減量」をテーマとした子ども向けの体験イベントへの出展

- ・環境フェスタに出展し、自然や環境について学ぶとともに、参加者へ体験活動を提供した。

環境フェスタ 自然活動団体や環境保全活動に力を入れる企業 24 団体が自然や環境を身近に感じる体験イベントや展示を実施（所管：環境政策課）

分別クイズ・子ども部屋を片付けよう！！	エコバッグ・スリッパづくり
<p>参加人数：35 名 子ども部屋をイメージしたパネルに貼っている様々な物を、いるもの・いらないものに分け、いらない物は何ごみで捨てるかを体験</p> 	<p>参加人数：55 名 新聞紙でスリッパやエコバッグを作り、災害時にも使えるなどを参加者同士で確認した。</p> 

活動内容 2 自宅でのごみ減量チャレンジ

- ・9月～12月で実施。
無理なく取り組めるごみ減量を、1人ひとりが考え自宅で実践（9月～11月）。その手法や成果を12月末に発表する。
- ・勉強会の実施（予定）内容
企業での取り組み例の紹介
H2O リテイリング(株)社員による講座（10月）

店舗での取り組み

食品リサイクル

分別の徹底と計量器の導入

食品リサイクルによる廃棄・焼却の抑制
(減量、炭化燃料、飼料化、…)

グループの食品廃棄物総量とリサイクル率

年次別実績	2022年度	2023年度	2024年度
食品廃棄物 発生量	11,800t	11,286t	11,009t
食品リサイクル 率	56.1%	48.8%	58.0%

食とわコンポストチャレンジ

「捨てる」から「育てる」へ

みんなの「わ」が見つかる




キッチンの生ごみをコンポストして堆肥化
毎日の暮らしの少しの変化でまちに緑が増える

国崎クリーンセンターの見学（11月）

